

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	外装仕上げの耐用年数予測手法小委員会	主 査 名：今本啓一 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：井上照郷
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ファクターメソッドによる耐用年数設定に必要なリファレンス・サービスライフを実建物調査からデータ収集を行い、分析を行う。主に UR 団地や標準仕様の下に外装材の施工・改修が行われる物件を対象とし、実地調査を中心にデータの収集を行う。 得られたデータの分析結果に基づき、外装仕上げ材の耐用年数とその予測手法を提案する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：今本啓一 (東京理科大学) 幹事：井上照郷 (日本建築仕上材工業会) 委員：大澤悟 (竹中工務店)、鹿毛忠継 (国総研)、兼松学 (東京理科大学)、古賀純子 (建築研究所)、輿石直幸 (早稲田大学)、添田智美 (フジタ)、榆木 堯 (ベターリビング)、濱崎 仁 (芝浦工業大学)、本橋健司 (芝浦工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	建築学会大会での発表も毎年行っており目標達成のためのデータ・成果は順調に蓄積されつつある。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 調査費用 (基本的に各研究機関ベースで調査のための費用を負担している)

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。